

## NEWS23 週刊報告      ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：10/28～11/1

### ・10/28(月)

東京オリンピック、萩生田文科相が謝罪、シリア情勢、河野防衛相の発言などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、河野防衛相の発言については問題が見られました。また、萩生田文科相が謝罪については検証者の所感を記しました。

### ・10/29(火)

京都市がステマ、アメリカが沖縄でパラシュート訓練を強行、饗宴の儀の3回目、イギリスの政局、国府台人と萩生田大臣が謝罪、【異論反論】#ステマなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、

### ・10/30(水)

東京五輪、英語民間試験、表現の自由、森友裁判、イギリス議会、日韓首脳会談延期、【異論反論】#日本の英語教育などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、表現の自由については放送法上問題が見られました。また、英語民間試験については検証者の所感を記しました。

### ・10/31(木)

河井法相辞任、大学入試改革などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。なお、大学入試改革については検証者の所感を記しました。

### ・11/1(金)

五輪マラソン開催地問題、大学入試における英語民間試験導入問題などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られなかった。なお、五輪マラソン開催地問題については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月28日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕 小池百合子(東京都知事)、高橋尚子(NEWS23、スポーツスペシャルキャスター)		
検証テーマ：東京オリンピック、萩生田文科相が謝罪、シリア情勢、河野防衛相の発言		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県や福島県での記録的豪雨</li> <li>・東京オリンピック</li> <li>・萩生田文科相が謝罪</li> <li>・テコンドー協会の理事が総辞職</li> <li>・シリア情勢</li> <li>・河野防衛相の発言</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#東京五輪</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック：結論→特に問題なし                      東京オリンピックについてスタジオとVTRで以下に朱記したように取り上げられていた。なお、スタジオでは小池百合子東京都知事とスポーツキャスターの高橋尚子氏が出演していた。</li> </ul> [スタジオ] <p>"小川彩佳「ここからは東京オリンピックのマラソン、競歩の開催地をめぐる問題についてお伝えしてまいります、スタジオには東京都の小池百合子知事に来ていただきました。よろしくお願いいたします。」</p> <p>小池百合子「こんばんは、よろしくお願いいたします。」</p> <p>小川彩佳「さらにですね、23のスポーツスペシャルキャスターの高橋尚子さんにも加わっていただきます、よろしくお願いいたします。」</p> <p>高橋尚子「よろしく、お願いします。」"</p> <p>小川彩佳「まずは今回の事態なにおきているのか、まとめました、こちらです。」</p> [VTR] <p>"ナレ「一ヶ月ほど前まで、IOCのバッハ会長は東京都の準備状況を評価する姿勢を見せていました。」</p> <p>バッハ（IOC会長）「これほど準備が整った都市は見たことがない。」</p> <p>ナレ「しかし、このわずか二週間後、」</p> <p>バッハ会長「IOCと組織委員会はマラソンと競歩の開催を札幌に移すことを決めた。」</p> <p>ナレ「突然、マラソンと競歩を札幌で開催すると発表したのです。」</p> <p>小池百合子「突然のお話でした、ご説明をきちんと聞かないとならないと思います。」</p> <p>ナレ「ドーハで行われた世界陸上で猛暑により途中棄権する選手が相次いだことからIOCは東京の暑さを心配し</p>		

たのです。そして先週金曜、小池都知事は発表後初めて IOC のコーツ委員長と会談。」

小池百合子「ええ、まず冒頭からで恐縮でございますが、今回のその IOC の発表には私も都民も大変、正直驚きました。」

"ジョン・コーツ (IOC 調整委員長)「IOC は常にアスリートの健康と福利を考えこのような変更をすることを決定した。」

ナレ「IOC はドーハと東京の暑さを比較する独自の資料を提示し、札幌での開催を主張しました。会談を終え、コーツ氏は。」

コーツ調整委員長「東京都が主張したからどうなるという問題ではなく、決定事項です。」

ナレ「開催地を東京に戻すことはない、と明言しました。」

[スタジオ]

"小川彩佳「札幌開催という発表はちょっとびっくりしましたが、我々も。その東京都がどうこうということではなく札幌で決まりだというこの発言をどう受け止めていらっしゃるんですか。」

小池百合子「はい、まああの知らされるのも突然でしたし、中身はさらに突然でしたし、これまで IOC のメディカルコミッティーなどともアドバイスを頂戴したり、それから打ち合わせを何度も重ねて、どういう状況で行っていくのかということで綿密な準備を重ねて、それが証拠に 10 月 3 日にはコーツさんはまあ絶賛してくださっているわけで、それがなんで急にこう急転直下で変わるのかアスリートの皆さんも大変ですし、これまで準備してきた関係の都庁もそうですし、組織委員会の皆さんもそうでしょうし、それからあと、それぞれ沿道をね、なんとかして盛り上げてアスリートの皆さんに声援を贈りたい、それから地域の紹介もしたいというふうに準備をされている方、たくさんおられるんですね。その事を考えますと、ちょっと説明がつかないなというのが今の時点でもそう思っています。」

小川彩佳「この急転直下の背景には何があったと推察されますか。」

"小池百合子「まああの 9 月 27 日に高橋さんも行ってらしたと思いますけれどもドーハでの世界陸上、特に女子マラソンで多くの棄権をする人が途中出てきたという点、映像的にも途中で座り込んだりされている方々がおられるというのもありました。ただ、この後に東京の準備は素晴らしいと言っているわけですね、だからどこで何が決まったのか、いわゆるデュープロセス、過程がわからないと都民への説明も難しいですということも申し上げて、まだあのちょっとクリアなお返事を頂いていない、説明を頂いていないと思っております。」

小川彩佳「なるほど、ただ、この素人感覚で受け止めますと、世界陸上ドーハ大会を受けて、あれだけ危険者の出て、アスリートの皆さんの命に健康に関わることでありますから、まあそれを踏まえてこの東京の暑さを見たときにこのままいけるのかな、と難しさを覚えたというその IOC 側の気持ちもわからないでもないなというふうに感じてしまうのですが。」

小池百合子「ただあの、いろんな数字もね、あちらも用意、暑さ指数というのがあります、気温だけではなく湿度なども含んで、その数字の根拠もですね、今回私共に示された根拠と、私共が有している数値と若干その考え方の相違もあるのではないかなと、まあ札幌ありきで進められるのは非常に私共とすれば困惑するところです。」

"

"小川彩佳「高橋さんは実際ドーハ大会現地からニュースで取材されていましたが、で実際マラソンのコースも走っていましたが、どうでしたか、暑さ。」

高橋尚子「はい、ドーハ世界陸上は深夜スタートだったんですけども、気温は 30 度、湿度は 80% 近くと確かに暑かったんですね、ただ、暑熱対策や暑さ対策をしっかりとしている選手たちというのはその分、結果に結びついていました、準備のやっぴり差というのが結果に出てたきがするんですね、それを踏まえると東京は長い間やはり暑熱対策の準備というのをしてきているので、一概にドーハとこの東京を比べられないんじゃないかな、というふうに感じはしています。」

小川彩佳「ドーハの対策というのはどうだったんですか。」

高橋尚子「深夜スタートということだけですよ、あとそういった暑さ対策というのはここ個人やチームに任せられるといった状態でしたので、そういった意味ではこの国を上げて、都を上げてと言った準備を長年している東京都はまた少し違うのかなという感じはしています。」

小川彩佳「うーん、随分対策が違うというところで、その東京の対策。どのようなことをしていたかと言うと。」

"

山本恵里伽「東京都派ですね、東京開催問事を前提としてこのような様々な暑さ対策を行ってきたわけですね、遮熱性のこの舗装ですね、道路の舗装であったり、ミストシャワー、そして選手に対する冷却グッズなどなど、様々な対策を行ってきた、で、この道路の舗装に関しては費用が 300 億円以上かかっているわけです。これももちろん都民の税金から出されているわけですので、都民、街の人々はどのように感じているのか聞いてみました。」

[VTR]

"記者「300 億円、暑さ対策で。」

60 代男性 A「そんなにかけたの、だったらやっぱりそれを理解してもらわしか無いんじゃないの、IOC に、そう思うんだけど。」

40 代女性 B「お金もせっかくかけてきたのに、無駄とかちゃんと計画通りやってもらえればいいのにとおもいますね。」

30 代女性 C「ちょっともったいないかなと言う気はするんですけども、やっぱり選手の健康面のほうが大事なんじゃないかなというふうに私は思います。」

70 代男性 E「あの、裕福な国がやるような状況になったら困るとおもうんですよ、もっともっと質素にやれるところはやったほうがいいと思う。」"

[スタジオ]

"小川彩佳「様々な声がありますけれども、無駄という言葉が出てきましたけれども、これだけお金をかけたのに無駄になってしまうということがあるとすると今後、例えば IOC に補償をお願いするとか、そういった事も考えていらっしゃるんですか。」

小池百合子「まあ色々、と法的な観点からも分析などしなければなりません、またあの舗装の部分など、これは国交相なども推奨してきた方法の一つではあるのですけれども、今回あの都道にかなりこれを施しているということでありまして、これから色々あの細かい計算が必要になる場合もあるかもしれません、いずれにしましてもこれまでずっと準備を重ねてきて、そしてそれでかつお墨付きも頂戴してきて勤めてきた、と。で、さらに工夫をせよと言われればいくつか考え方もあろうかと思えます、やはり東京大会でございまして、東京としてもっとせよということならばですよ、それを考える必要があるかなと思えます。」

小川彩佳「そうですね、まあ 30 日からのこの調整委員会でこの決定、札幌と言われているのを覆すとなると、また新たな提案を今からしなければならぬということになると思うんですけども例えばどのようなことを。」

小池百合子「いや、提案って、言っても東京大会でこれまで準備して効いたことが、それが提案そのものですよ、都というかそれまで勧めてきたことがきちっとあるわけですから、それをさらに進めよというのであれば、いくつかのいろんな提案、今日も東京都の医師会の方から頂戴を致しております、それから東京都議会の方もですね、どうやら一致してですね、全会でこの東京大会でということのを推し進められるというふうにも伺っております、ですから東京都とすれば、東京大会を成功させていくと、そのことについてはあの、これからも自信を持って勧めていきたいと思えます。基本的にですねこれまでいろんな物事を決める際には調整会議だけではなくていろんな積み重ねがあります。で、連携撮ってまいりました。で、かつ基本的には開催都市、がですねこういう提案をして会場をこうしますと言ったときにはですねそれを承認していただくのが IOC で有るという認識を持っていますけれども、今回はいきなり IOC から、ハル・ノートという思いもありますけれどね。」

"小川彩佳「そのためにはその日本側も一丸となっていかなければならないところで連携がいまいちうまくいっていないのかなというふうにもみえるんですが。」

山本恵里伽「そうですね、そこも一つ注目されている点だと思うんですけどもこれまでの経緯を時系列で見たいと思います、今月 11 日の時点で組織院会の森会長は IOC から札幌開催の話、連絡が来ていたということなんです、ですが小池知事に連絡が来たのは IOC が札幌開催を発表する前日の 15 日だったわけです、三日間空白があるわけですね、これについて森会長は、三連休ですから関係者を集めるのは難しい、電話連絡というわけには行けない・・・というお話があったわけですね。」

"星浩「森さんはね、どうもこの間に他の政府関係者とも話をしているようで、どうやらこれあの全体としてみると、小池包囲網といいますかね、なんか小池さん以外の人で話を決めちゃえというような構図にも見えてきてしまうんですけども、どうですかね。」

小池百合子「いやあ、いろいろな分析があろうかと思いますが、ただやはりそもそも東京大会を成功させようというのが共通の認識のはずですので、今回の件については私、東京都を外すというのは東京都民を外しているということになってしまう、ということに取られるのは私は組織委員会の役割としてもね、もっとお力いただきたいなと思っております。」

小川彩佳「そうですね、まあ小池さんが孤軍奮闘されているような、そんな印象すら受けますよね。」

"小池百合子「でも、1400 万人のね、都民の皆さんの思いを、やはり今回はまだ納得できない多いわけですし、そこはしっかりこれからの調整委員会に臨んでいきたいと、都民の皆さんの思いを込めて、のぞみたいと思っています。」

小川彩佳「東京でというところを強く思っていると思うんですが、仮に札幌開催となった場合の追加の予算について 340 億円というふうに都民ファーストの試算では言われていますけれども、仮になんですけども開催となった場合どうなんですか、東京が費用負担するのかどうか。もし東京が負担しないと。」

"小池百合子「それは、会場移します、お金を出してくださいというのはどうりがないですね。はい、もうその一点につきますね」

星浩「他の自治体には財政は援助できませんからね。」

小池百合子「基本的には法律上、そういう点もありますしまあオリンピック・パラリンピックという例に合わせるといろんな考え方もありますが、しかしながら都民の感情といしても、また今回のいきさつ一つとってみてもお願いしてどうこうというものではありません、こちらから、そういったことから都がお金を出すという道理はそもそもないということだと思っています。」

小川彩佳「そうした中、この札幌開催ということについては現役の選手はどう思っているのか、こちらです。」 "

[VTR]

"川野将虎（東京五輪男子 50 キロメートル競歩内定）「札幌になったとしても、やっぱり自分はそのどちらのコースでもベストを尽くすのが最善、というか、しかないのかなというふうに。」

服部勇馬（東京五輪男子マラソン内定）「走ったことがないコースなので、まあなかなか地の利を活かすことは難しいのかなというふうには思いますし。」 "

[スタジオ]

"小川彩佳「まあ選手の皆さんも言えること言えないこと色々お有りになるんだなと思いますけれども、高橋さんは現役の選手の皆さんの気持ちを考えるとどうですか。」

高橋尚子「いや、アスリートは出された課題を全うするのが使命ですので、この宙ぶらりんな状態ではなく早く時間とコースを決めてほしいという思いが強いんだと思いますね、東京であれば MGC の経験であったり、暑熱対策がそのままいきますし、札幌であったら練習内容もスケジュールもまったく変わってきてしまうんですね。そういった意味で海外の選手に目を向けてみても暑熱対策をずっと続けている人は東京でやってもらいたいという意見もあるでしょうし、リスクが少ないといった部分では札幌開催を歓迎する選手も多いと思います、ただ、選手も関わった人たちも都民の皆さんも、なんでこうなったのか、そして納得してその方向に進めるような説明はしっかりしてほしいなというのはあると思いますね。」

小川彩佳「そうですね、アスリートファーストということを考えて小池さん、どう思いますか。」 "

"小池百合子「アスリートファーストと、それから大会全体の例えば安全の確保であったり、それからボランティアの方々、さらにはチケットがですね、あたって方ですね、マラソンの新国立競技場で迎える方、もういろんなファクターがありますのでアスリートファーストはもちろんですけども、全体のマネジメントをしっかりやらなければ合わないと思いますね。」

小川彩佳「まあ 30 日に調整委員会が行われますけれども、決定を覆すという思いで臨まれるのか、どういった。」

小池百合子「まず調整委員会の方でしっかりと意識というか情報、共有して行きたと思います、ただあくまでも東京大会という冠がついていること、これについては大きなことだと思います。」

小川彩佳「やはり納得の行く説明をね期待したいですね、30 日に調整委員会が行われます、小池さんありがとうございました。」 "

このトピックに当てられた時間は 981 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・萩生田文科相が謝罪：結論→特に問題なし

小川キャスターの「続いてのニュースに参ります、萩生田文部科学大臣が大学入試に導入される英語の民間試験について身の丈に合わせて頑張るなどと発言したことを説明不足だったと謝罪しました。」というコメントに続いて以下に朱記した VTR が取り上げられた。



"ナレ「受験生たちは怒っています。」

受験生 A (19)「身の丈にあったっていうのはどういうつもりで言っているのかなと。」

受験生 B (20)「統括している人間がそういう事を言うのはあまり適切ではないと思いますね。」 "

"ナレ「受験生が憤慨しているのは大学入試を所管する文部科学省のトップ、萩生田大臣の発言に対してです、来年度から大学入学共通テストで実施される英語の民間試験、受験生が英検など 7 種類から試験を選び、4 月から 12 月までに受けた 2 回分の成績が大学側に通知され合否に反映される仕組みです。裕福な家庭の子供は 2 回の本番の試験の前に何度も受験することで予行演習ができるなど経済格差も指摘されています。萩生田文科大臣は先週、民放の BS 番組に出演した際、お金や地理的に恵まれた受験祭が有利になるのではという質問に対し、」  
萩生田文科相 (24 日民放 BS 番組で)「裕福な家庭の子が回数受けてウォーミングアップできるみたいなことがもしかしたらあるかもしれないけれど、そこは自分の身の丈に合わせて 2 回をきちんと選んで勝負して頑張ってもらえれば。」 "

"ナレ「教育基本法ではすべての国民は等しくその能力に応じた機会を与えられなければならない、教育上差別されない、と定めています。萩生田大臣の発言は経済格差による教育格差を容認している、などと批判の声が上がりました、萩生田大臣は今日、このように釈明しました。」

萩生田文科相「自分の都合に合わせて、適切な機会を捉えて二回の試験を全力で頑張ってもらいたい、との思いで発言をしたものです。」

ナレ「そのうえで、受験生に不快な思いを与えかねない説明不足の発言でお詫びを申し上げる、などと謝罪をしました。」 "

福山哲郎 (立憲民主党幹事長)「経済的に厳しい状況に置かれている学生からするとですね、まったくあの発言は感化できないし、許しがたい発言だと思います。」

小池晃 (共産党書記局長)「教育基本法を踏みにじる萩生田氏には文部科学大臣を続ける資格はないというふうに言わざるを得ないと思います。」

ナレ「野党統一会派は明日、衆議院文部科学委員会の理事懇談会で萩生田大臣の辞任を求める考えです。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川彩佳「これテレビ番組の生出演中に不用意に漏れた言葉だと思うんですけども、だからこそ、私、重いと思うんですね、身の丈というのは分相応とか身の程とかそういった意味合いがあると思いますけれども、なんでそうした言葉が大臣の口からさらりと出てきてしまうんだろう、というふうに星さん、私強い嫌な思いがしますけれども。」

星浩「そうですね、やっぱり、私非常に深刻な問題発言だと思いますね、教育の機会均等というのは文科省の最大の仕事なんですよ。経済面などで受験ができなかったりとか勉強ができなかったりする子どもたちを支援するっていうのが仕事ですよ、それなのにその身の丈でやれ、というのはまさにその文科省の仕事を放棄しているようなものですよ。で、受験生も非常に不安を覚えるとおもいますよね。こういう発言にね。ですから、国民の代表である国会で、どういう狙いの発言なのかきちんと説明する必要があると思いますし、もし説明できないならね、責任を取るべきだと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は 279 秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・シリア情勢：結論→特に問題なし

シリア情勢について以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

トランプ大統領「昨夜、アメリカは世界最悪のテロリストの指導者に正義の裁きを下した。」

ナレ「トランプ大統領は 27 日、アメリカ軍の特殊部隊によるシリア北西部での軍事作戦の結果、バグダディ容疑者がトンネルに追い詰められ自爆し、死亡したと発表、世界はより安全な場所になったと自らの成果を強調しました。しかし、イスラム国はトランプ氏の発表からまる 1 日以上経ってもバグダディ容疑者の死を認める声明などは出していません。イスラム国組織の弱体化も伺える一方、その過激思想は世界各地に広がっていてテロの脅威は残ると見られます。」

このトピックに当てられた時間は 51 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・河野防衛相の発言：問題あり

河野防衛相の発言について以下に朱記した VTR が取り上げられた。

河野太郎(防衛相)「私はよく地元で、雨男と言われました。私が防衛大臣になってから、既に台風が 3 つ、そのたびに災害派遣、自衛隊の隊員が出て来ております。」

ナレ「河野防衛大臣は今夜、自身の政治資金パーティでこのように発言しました。災害派遣に当たる自衛隊員をねぎらう中で飛び出した発言ですが台風被害による行方不明者の捜索が続く中だけに批判の声が上がりそうです。」

番組のクロージングで以下に朱記したやり取りが繰り返された。

"小川彩佳「被災地の雨がまた心配ですけれども、そうした最中、今日は河野大臣から不用意な発言がありましたね。」

星浩「そうですね、この時期にね、防衛大臣が政治資金パーティを開くこと自体、私、問題だと思いますけれども、そこでその自衛隊の派遣について笑を取る発言ということ自体、私信じられないんですけれども、萩生田大臣に続いて、どうも政権がやや緊張感を失っている現れだと思いますね。」"

このトピックに当てられた時間は 81 秒だった。

VTR 中の「批判の声が上がりそうです」という表現しておいて、実際にスタジオで批判を展開するという構成は放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」および三号「報道は事実をまげないですること」という点から問題があるといえるだろう。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・萩生田文科相が謝罪

スタジオで小川キャスターが「これテレビ番組の生出演中に不用意に漏れた言葉だと思うんですけれども、だからこそ、私、重いと思うんですね、身の丈というのは分相応とか身の程とかそういった意味合いがあると思



ますけれども、なんでそうした言葉が大臣の口からさらりと出てきてしまうんだろう、というふうに星さん、私強い嫌な思いがしますけれども。」とコメントしていた。

ところで、萩生田文科相は早稲田実業学校高等部から一年間の浪人を経て明治大学商学部に進学した学歴の持ち主であり、小川キャスターは青山学院大学の初等部に入学し、そのまま大学まで青山学院大学にエスカレートで進学する学歴の持ち主である。ちなみに、早稲田実業高校は早稲田大学の系属校であり、多くの生徒が早稲田大学に推薦で進学する学校である。なお、星キャスターは福島県立福島高等学校から東京大学教養学部に進学した学歴の持ち主である。

ところで、今回の「身の丈」発言問題で大学入試のみが問題視されているが、上記で紹介した三者の学歴を見ても今回の大学入試改革で影響を受ける可能性がある学歴は星キャスターの学歴のみであり、小川キャスターにしても萩生田文科相にしても今回話題となっている入試改革とは無関係の学歴の持ち主である。

VTR では「裕福な家庭の子供は2回の本番の試験の前に何度も受験することで予行演習ができるなど経済格差も指摘されています」と経済格差の問題を絡めて取り上げられていたが、小川キャスターは大学入試を経験していないし、萩生田文科相にしても本来は大学入試を経験する必要のない高校に進学しており、こちらの方も地域格差や経済格差という観点からは問題であると言える。また、そうでなくとも、東京大学などの進学実績は都市部の一部の進学校に偏っており、そうした高校に進学する機会という意味では地域格差は存在している。

しかし、今回の取り上げ方は、そうした附属校や都市部の進学校についての地域格差や経済格差については不問とされており、大学入試だけが取り上げられており、いささか取り上げ方が偏っていないだろうか。

また、学校が独自に試験日程を設定し、受験生はその中から志望度や受験会場などを勘案し受験のスケジュールを組んでいく私立大学と異なり、国公立大学は各大学で共通の試験日程を設定しておりその際に受験校を絞り込む材料がセンター試験の点数である。その意味ではセンター試験の役割には受験生の身の丈を示す、という役割があるといえる。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月29日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：京都市がステマ、アメリカが沖縄でパラシュート訓練を強行、饗宴の儀の3回目、イギリスの政局、国府台人と萩生田大臣が謝罪、【異論反論】#ステマ		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所でノロウイルス集団感染か</li> <li>・緒方貞子さん死去</li> <li>・豚コレラと「検疫探知犬」</li> <li>・京都市がステマ</li> <li>・ストーカーで大学教員を逮捕</li> <li>・アメリカが沖縄でパラシュート訓練を強行</li> <li>・饗宴の儀の3回目</li> <li>・生後一ヶ月長男への膀胱で母親を逮捕</li> <li>・イギリスの政局</li> <li>・河野大臣と萩生田大臣が謝罪</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#ステマ</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都市がステマ：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「京都市がPR活動の一環として吉本興業の人気漫才コンビによるツイートに報酬を支払っていたという問題です、その額は2回の投稿で100万円というものでしたがいわゆるステルスマーケティングではないかという波紋が広がっています。」というコメントを受けて、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>ミキ「実は京都にはモテないスポットがある、モテないスポットとは兄ちゃんのように魅力が一杯にもかかわらず、その魅力が伝わっていない場所のことである。」</p> <p>ナレ「YOUTUBEで京都市の魅力を発信しているのは京都出身で吉本興業の人気コンビ、ミキです。今、この二人のツイッターが波紋を広げています。」</p> <p>ミキのツイッター「京都を愛する人なら誰でも京都市を応援できるんやって。」</p> <p>ミキのツイッター「京都最高、みんなで京都を盛り上げましょう。」</p> <p>ナレ「これはミキが去年11月に投稿したTwitter。問題となっているのはこれらの投稿に対し京都市から吉本興業に報酬を支払う契約が結ばれていたということです。その報酬額は一回の投稿につき50万円、ミキは京都市をPRする内容を2回投稿し合わせて100万円が吉本興業に支払われたということです。投稿された内容を見ると、京都市盛り上げ隊や京都国際映画祭などの文言はあるもののPRであることを示す具体的な文言はあり</p>		

ません。報酬が支払われることを伏せた形の宣伝の投稿はステルスマーケティングとして問題になっています。では、今回の投稿に問題はないのでしょうか。"

園田寿(情報問題に詳しい甲南大学法科大学院教授)「コマーシャルということでやっておれば、そういう観点からその発言を見るとということが可能になるわけですけどもね、そこが隠されているわけですからね、輿論に対する誘導、倫理上問題があるんじゃないかと」

"ナレ「今回の問題に大阪市の松井市長は。」

松井一郎(大阪市長)「ツイート一本 50 万円、ええ商売やなと思うね、大阪市は絶対やりません。費用対効果としてあいせんから。」"

ナレ「芸能界からも、」

"たむらけんじさんの Twitter 「誤解を招くような仕事をとってきた会社に責任があるんじゃないかと僕は思います。」

デーブ・スペクターさんのツイート「ただでさえ京都が込みすぎて常連もいきにくい状況の中で余計な宣伝、ましてステルスをやらする必要がありますか？」"

"テロップ「街の人は」

男性 A 「別にいいと思いますね、僕は、まあそれで京都に利益が生まれるのであれば問題ないのかなとも思いますけど。」

女性 B 「この人が美味しいっていうなら美味しいだろうとかすぐ影響される部分はありますね。」"

"ナレ「一方、京都市側は JNN の取材に対して。」

広瀬善規(京都市市長公室係長)「消費者に誤解を与えとか不利益な情報をもたらすとかそういった問題はまったくないと思っておりますので、京都市盛り上げたいというハッシュタグもつけておりますし、京都市からの依頼に基づくものとご理解いただけるのではないかな、と。」

ナレ「と、広報活動の手法に問題はないとしています。」"

このトピックに当てられた時間は 252 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカが沖縄でパラシュート訓練を強行：結論→特に問題なし

米軍による訓練強行について以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレ「沖縄県の嘉手納基地でアメリカ軍がパラシュート降下訓練を実施しました。日米両政府は訓練は沖縄県の伊江島で行うことで合意しており、河野防衛大臣はアメリカ政府に対し、訓練を中止するよう求めていましたが、これを無視して訓練が行われたこととなります。」

"河野太郎(防衛相)「同名に影響を与えかねない大変遺憾案出来事だと思っております。」

ナレ「河野氏はアメリカのエスパー国防長官との会談などを通じ、同じことを繰り返さないよう求めていく考えです。」"

このトピックに当てられた時間は 40 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・饗宴の儀の 3 回目：結論→特に問題なし

饗宴の儀についてナレーションによって「天皇陛下の即位に伴う祝宴、饗宴の儀の三回目が皇居宮殿で行われ

ました。今日は国会議員や都道府県知事の他、国民栄誉賞受賞者の王貞治さんや伊調馨さん、高橋尚子さんらが出席し即位の礼で使用した高御座と御帳台を見学しました。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は25秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イギリスの政局：結論→特に問題なし

イギリスの政局についてナレーションによって「EU離脱が難航するイギリス、ついに総選挙になる可能性が高まってきました。これまでジョンソン首相の選挙の提案に慎重だった最大野党労働党が離脱の延期を受けて賛成に転じると明らかにしました。投票日は12月9日から12日の間で各党の駆け引きが続いています。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は26秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・河野大臣と萩生田大臣が謝罪：結論→特に問題なし

河野防衛相と萩生田文科相が発言を謝罪したことについて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。

河野防衛相「不快な思いをされた皆様方にお詫びを申し上げます。」

ナレ「河野大臣は昨夜、私は雨男と言われる、私が防衛大臣になってから既に台風が3つ、などと発言したことについて今日、陳謝しました。さらに。」

萩生田光一文科相「特に受験生の皆さんに対して不安や不快感を与えることになってしまったと考えており、改めてお詫びを申し上げるところでございます。撤回をします。」

ナレ「萩生田文部科学大臣は先週、民法のBS番組で大学入試への英語の民間試験の導入をめぐる身の丈に合わせて頑張ってもらえれば、などと発言、今日改めて陳謝し、発言を撤回しました。」

ナレ「野党側は制度そのものの見直しや試験の延期を求めていく方針です。」

VTRを受けて以下に朱記したやり取りがスタジオで繰り広げられた。

"小川彩佳「この民間試験の導入を巡ってはもともと様々な懸念が出ていましたけれども、この大臣の発言をきっかけにこのままでいいのかという声が再燃してきていますね。」

星浩「そうですね、この身の丈発言で英語の民間試験の問題点が浮き彫りになったという感じですよ、経済的に余裕のない家庭に負担になるんじゃないのか、地方の学生にとって不利なんじゃないのかということで批判の方も具体的に強まってきている感じですよ。」

小川彩佳「そうですね、ただ混乱が長引くようではただただ当事者の受験生が更に翻弄されるだけという状況ですけれどもこのまま導入という方向に進むのでしょうか。」

星浩「今晚ですね、自民党の文科大臣経験者に聞いてみたら混乱が予想される中でね、このまま強行していいのかどうかという話をするようになりまして、どうやら見直しの機運は出てきたようですね、ただやっぱり受験生の不安解消というのが最優先ですので、見直しをするにしても、できるだけ早く結論を出して安心できるようにしてもらいたいですね、はい。」

このトピックに当てられた時間は126秒で、放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】#ステマ：結論→特に問題なし

京都市のステマについて

山本恵里伽「京都滋賀市のPRを人気漫才コンビにツイートしてもらうため報酬を支払っていた問題、あなたの意見は、異論反論」

"40代男性A「税金だと、有効に使ってくれるかっていう話ありますからね、もうちょっと有効に使ってくれたほうがいいのか。」

20代女性B「それでまあ、京都に行こうとか思うんだったらそんなにだめなことでもないかなと思うけれどでもなんか、そこに使われてるのかあとか思っちゃう。」

大学生男性C「50万払ってやるってどうなのかって思う、芸能人で発信力があるので個人の意見として言われても、結局は公的な意見みたいになるんじゃないかな。」

20代男性E「何かしらの意図があって使われているのだったらそれはそれでいいのか、影響力がある人なので50万くらいなのかと、特に大きいなとも思うわけでも特に小さいなとも思わないです。」

記者「広告か個人の意見かを見分けるのってどうですか？」

30代男性「ええ、わからなくない？」

20代女性「広告にも見える、あれURLとか貼ったらお金もらっているのかなって思う。」

30代男性「本人が本当に勤めているかはどうかは、まあこっちが騙されちゃうと言うか信じちゃうというような人がいっぱいいると思うんですけども、自分で判断するしか無いのかなと思います。」

ナレ「以上、オブジェクションでした。」

このトピックに当てられた時間は89秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・河野大臣と萩生田大臣が謝罪

星キャスターは「この身の丈発言で英語の民間試験の問題点が浮き彫りになったという感じですよ、経済的に余裕のない家庭に負担になるんじゃないかとか、地方の学生にとって不利なんじゃないのかということで批判の方も具体的に強まってきている感じですよ。」とのコメントをしていたが、現行の制度でも、模擬試験だとか大学の附属高校や進学校の偏在だとか、そういう意味では経済格差や地域格差は存在している。

この民間試験を導入しないとしても今回浮き彫りになった格差の問題は現行制度でも存在しているということは忘れてはならないだろう。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月30日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：東京五輪、英語民間試験、表現の自由、森友裁判、イギリス議会、 日韓首脳会談延期、【異論反論】#日本の英語教育		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京五輪</li> <li>・英語民間試験</li> <li>・浸水被害を拡大させた側溝</li> <li>・表現の自由</li> <li>・目黒虐待事件で東京地裁から父親に13年の懲役が確定</li> <li>・森友裁判</li> <li>・イギリス議会</li> <li>・大阪地検から被告の女が逃走</li> <li>・日韓首脳会談延期</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・【異論反論】#日本の英語教育</li> <li>・各地で濃霧が発生</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京五輪：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「まずお伝えするのは、東京オリンピックのマラソン競歩は東京課札幌か、そもそもこの事態の責任、どこにあるのでしょうか。」というコメントを受けて以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p>ナレ「東京か、それとも札幌か。今日、東京オリンピックのマラソンと競歩の開催地を決めるIOC調整委員会が行われました、会議前にコーツ委員長と会話を交わし笑顔を見せた東京都の小池知事ですが。」</p> <p>小池百合子都知事「開催都市、東京に最後の段階までご相談がございませんままで、議論がないままで、このような提案がなされたこと、極めて異例の事態と捉えています。開催都市の長と致しまして、都民の代表としてマラソンと競歩の東京での開催を望みたいところでございます。」</p> <p>"ナレ「一方、コーツ委員長は。」</p> <p>ジョン・コーツ(IOC調整委員会委員長)「10月16日にIOC理事会はマラソンと競歩の会場を東京から札幌に移転することを決めた。」</p> <p>ナレ「対立する二人の主張、そして札幌開催が覆らない場合、変更に伴う費用をどこが負担するのが今後の焦点となります。」</p> <p>小池百合子「仮の話、だと理解を致しておりますけれども、東京都として、その別の会場に支払いというか、都民の税金を支払う考えはございません。」</p>		



"ナレ「大会組織委員会は IOC に対し、新たに生じる費用の全面負担を求める方針であることが関係者への取材でわかりました。今回、コウト委員長は札幌にするとした理由について、世界陸上のドーハでの暑さを挙げています、突然の開催地変更発言に揺さぶられた日本ですが、そもそも 2013 年、オリンピックを東京に承知する際、オリンピック期間の東京の気候について、立候補ファイルでこう説明していました。」

立候補ファイル「この時期の天候は晴れる日が多く、かつ温暖であるため、アスリートが最高の状態でパフォーマンスを発揮できる理想的な気候である。」

ナレ「温暖で理想的な気候と記された立候補ファイルですが、この時期の東京の最高気温は 30 年間の平均で 30.9 度となっています。こうして決まった、マラソンの東京開催に小池都知事は胸を張っていました。」 "

小池百合子「例えば、道路の遮熱性の舗装、日陰の確保、協議時間の検討、などなど多額の経費、そして時間、エネルギーをかけながら様々な対策を講じてまいりました。」

ナレ「しかし、対策の一部に今や異論も出ています。」

"山本恵里伽「コチラ、見てみますと、道路の色、変わっているのがわかります、東京都は路面の温度上昇を抑える舗装を行ってきました。」

ナレ「距離はおよそ 130 キロの遮熱性舗装などの整備に 300 億円かけています、マラソンコースでも採用されている路面温度の上昇を抑える遮熱性舗装です。アスファルトの表面に遮熱材が塗られていて太陽光を反射させて路面温度の上昇を抑えます。3 年前視察した当時の丸川オリンピック担当大臣は。」

丸川珠代五輪相（当時）「全然違いますね。全然違います。ここにいても全然暑さを感じない。」 "

"ナレ「しかし、この舗装が走る選手にとっては逆効果になっているという指摘があります、効果を疑問視するのは熱中症の対策に詳しい東京農業大学の樫村教授です。」

柏村修生（熱中症対策に詳しい東京農業大学教授）「日射が強ければ強いほどリスク、熱中症のリスクを高めるということがわかってきました。」

ナレ「樫村教授の研究グループは今年 7 月と 8 月に遮熱性舗装の効果について計測を行いました。その結果、遮熱性舗装は通常のアスファルトに比べ、路面温度はおよそ 10 度低くなったものの路面から 150 センチの高さでは熱中症の危険度を示す暑さ指数がむしろ高くなったといます。」

樫村教授「遮熱性舗装というのは実際に、光を跳ね返すんです、路面の。ですから跳ね返りの熱は、赤外線の熱はどこに行くのか、空気中に戻っていくのです。ですから、アスファルトよりも遮熱性舗装の方が路面の温度ではなくて空気の温度の方を上げてしまうという結果になりました。」

ナレ「遮熱性舗装のほうが路面温度が低くとも通常のアスファルトよりも顔の位置での赤外線が 20 倍、紫外線も 4 倍高くなるという結果になります。」

山本恵里伽「遮熱性舗装を 130 キロ、300 億円かけていっているわけですけども、どうお考えですか。」

樫村教授「もうやってしまったものは元には剥がせないとします。ですからもう我々は今年ずっと言い続けているのはこれ以上やってほしくない、更にこの何とかして、遮熱性舗装というのは熱中症リスクを高めるんだということをもう一度確認してそれを国交相が認めてほしい。」 "

ナレ「国土交通省や東京都はこの、樫村教授の研究結果について結果は承知しているが、試走したランナーは効果を実感している、一定の効果はあると考えている、として、工事は進めていく方針だということです。」

"ナレ「開催地が揺れ動く中で大きな負担が懸念されるのは他でもないメダルを狙う選手自身です。」

森喜朗（大会組織委員会会長）「アスリートファーストの理念、そして、この選手への健康への配慮という点で IOC の皆さんの気持ちも十二分にわかりますし。」

ナレ「調整委員会でこのように述べた組織員会の森会長、それでは実際に競技場所が変更になるということは選手にとってどれほど負担になるのか探してみると。青山大学陸上部の原監督は。」

原晋（青山学院大学陸上部監督）「まったくその、レース内容が異なるマラソンにチャレンジしなければいけない、それをこの九ヶ月で仕上げていかなければいけない。」

山本恵里伽「選手の皆さんは具体的にはどんな準備が必要になりますか。」

原晋「3つ上げられると思います。一つはレースの性格がどうなるのか、そして2つ目はコースの特性はどうなのか、そして3つ目は予想される気象条件ですよね、これらを予想して分析してどう対策を打つかといういうことをですね、考えなければいけないですね、そのためにもいち早くコース設定を決めてほしい。」

ナレ「そして札幌開催に変更になった場合、早急にトレーニング方法を変える必要があると原監督は主張します。」

原晋「東京開催であれば2時間12分から2時間15分でメダルが狙えるのかなというふうに思っていました、しかしこれ札幌になると2時間6分から2時間9分を切るくらいのハイスピードの大会になるのかなと思うんですね。」

山本恵里伽「スピード重視となるとなかなか。」

原晋「ケニア、エチオピアの選手と比べれば余裕がない、太刀打ちできない、気象条件が良くなれば良くなるほど日本人には不利でしょうね。」

ナレ「ただ、トレーニングの変更にはリスクもあります。」

原晋「気象条件が良くなると、全体のペースも上がるし、途中のレース変動も大きくなるんですね。トレーニングそのものも途中でペースアップさせるようなトレーニング方法を多く入れるような形になってくると思うんです。ペースを上げると必ずアキレス腱とか体にダメージが来るので故障のリスクというのが出てくるんですね。まあ九ヶ月の中でそれを勘案しながらトレーニング方法も変えながら行っていくというのは本当に指導者の綿密な計画が求められるなというふうに思いましたね。」

ナレ「マラソン、競歩の開催地は東京か、札幌か。選手にとっては早期の開催地の決定が急がれます。」

小池百合子「お互いが信頼してそして、都民や国民の皆様、そしてアスリートの皆様の心が一つになるということが大会の成功にいちばん重要なことだと、ワンチームでいくことがこの大会の成功の基であって、そのベースは信頼だと思っています。」

ナレ「東京五輪の成功のためにベースは信頼だと強調した小池都知事。日本中が納得行く結果を導き出せるのでしょうか、結論は明後日1日に発表されます。」

VTRを受けてスタジオではいかに朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「明後日には結論が出ることとなりますけれども、これもし札幌ということになれば選手たちは急いで戦略を練り直さねければいけなくなりますよね。」

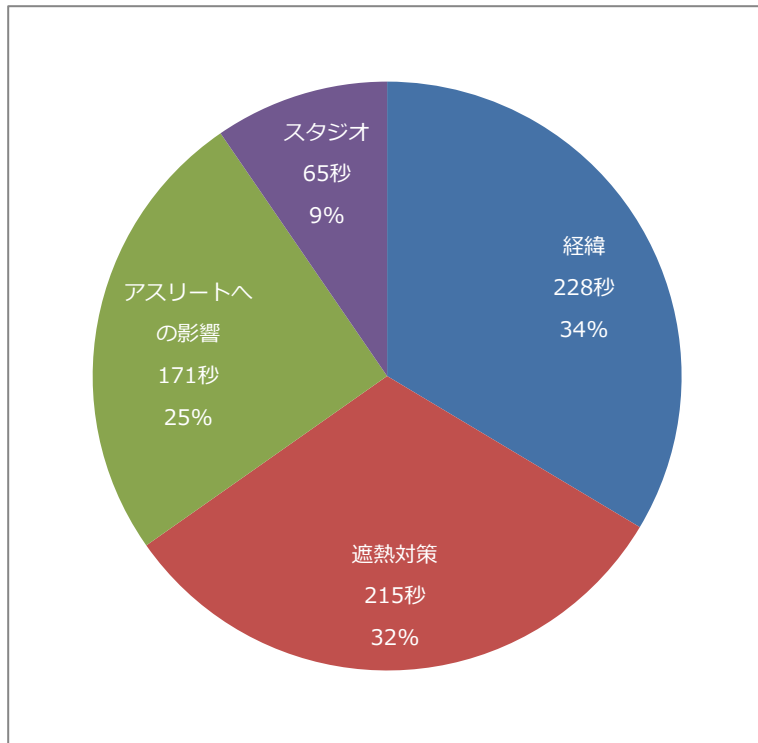
山本恵里伽「本当にそのとおりでいいですね。今日原監督にお話を伺いましたが選手たちは四年前から東京を想定して練習をしているわけなので、札幌開催となるとその今までの準備が無駄になってしまうという点ではショックが大きいだろう、負担が大きいだろうとはおっしゃっていたんです。ただ、札幌開催であれば札幌開催と早く決めていただいて、コースを提示していただかないと対策のとりようもない、遅くとも年内には詳細を

決めてほしい。」

小川彩佳「年内となるとギリギリのタイミングですね。」

星浩「今回その IOC のトップダウンのやり方には違和感はあるけれども選手のことを考えると札幌もありかなというの多くの国民の感情じゃないかなと言う気がしますよね、まあ明後日決まるので、その議論の経過とかね根拠となる数値とかを詳細に説明してなるべく納得できるような結論を出してもらいたいですね。」 "

このトピックに当てられた時間は秒で、経緯、遮熱対策、アスリートへの影響、スタジオについての時間配分及び比率は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

・英語民間試験：結論→特に問題なし

"小川彩佳「続いてのニュースに参ります。萩生田大臣の身の丈発言で一気に注目が集まっている英語の民間入試試験の問題です。」

山本恵里伽「新制度が始まれば巨額の受験マネーが動き、受験生を抱える過程に大きな負担となる民間の英語の試験ですね。そもそも誰がなんのために導入を決めたのでしょうか。制度の決定プロセスについても大臣が釈明に追われました。」 "

以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

初鹿明博（立憲民主党衆院議員）「中学校 3 年生のときにですね、三者面談をやったんですね、先生がじゃあ滑り止めの私立はと、言いかけたところ、うちの母親はそれを遮ってお金がないんで私立は受けさせません。落ちるようだったら働かせます、バッサリ言いましたね、身の丈に合うというのはそういうことなんですよ。:

ナレ「身の丈に合わせて頑張るって、という発言の撤回に追い込まれた萩生田文科大臣に対し野党は新たな制度が

まさに身の丈受験を助長すると、反発しています。」

"初鹿明博「いま、みんな身の丈に合うように受けているんですよ、残念ながら、それを少しでも負担をですね、なくしていこうというのが政府のやるべきことじゃないですか。それを新たな負担が増えることを何故やるのかと。」

萩生田光一文科相「様々なご指摘を受け止めながら一つ一つ改善していきたいと思います。」 "

ナレ「問題となっているのは大学入学共通テストとして2回まで受験できる英語の民間試験の受験料です。七種類の試験が導入される予定ですがもっとも安い英検産休でも一回5800円2回受けるとなるとトータルなどになると5万円を超える高額となります。負担は受験料だけにとどまりません、例えばケンブリッジ英語検定の場合、試験会場は12の都道府県に限られます。ほとんどの試験が主要な都市部でしか受験できないため、地方に住む受験生は交通費や宿泊費の負担を強いられるのです。」

"初鹿明博「例えば、北海道の稚内からセファールでいうC1以上を目指す方法を仮に見積もった場合、札幌で一番安いGTEC,CBTを2回、練習受験を一回、そして実子団体の公式教材を仮に6000円を購入した場合、英語1科目を受けるだけで73500円に加えて宿泊費がかかる、これまでのセンター試験ですと5科目で180000円です。」

萩生田光一文科相「これから会場の設定を増やしていく、そういう努力をしていきたいと思ひますし、減額についても団体の皆さんに引き続き交渉を続けてまいりたいと思ひます。」 "

"ナレ「国会で話題にのぼった、北海道稚内の学生は。」

高校生A「それは不公平だなと思ひます。親の負担とかもあって大変だなとお言うのは思ひます。」

高校生B「考え直すことはないけれど、よくはない。」 "

"ナレ「さらに、こうした民間試験は大学試験の年に受ける本番の二回とは別にお金さえ払えば高1や高2のうちに何度でも練習で受けることができます。お金のある受験生ほど本番に向けた試験業者の洗濯や予行演習で有利になるのです。そもそもなぜこうした制度を導入するのでしょうか。」

文部科学省発表資料「大学入学選抜において読む、聞く、話す、書く、の呼ん技能の総合的な育成を促す。」

ナレ「マークシート方式で行われているセンター試験は読む力、聞く力をテストしますが新たに話す、核についても共通テストが必要だということです。」 "

川内博史（立憲民主党衆院議員）「読む、聞く、書く、話すをね、あの技能を向上させようというのは誰も反対しないです、だけどそれをじゃあ民間の英語検定でそれを図りましょうねということ、まっ一体どこで誰が決めたのか。」

ナレ「野党側は政府が営利目的の民間業者が係る試験を大学入試に採用した経緯に目を向けます。」

"畑野君枝（共産党衆院議員）「業者の利益を挙げなくちゃいけないわけですから受験生の都合というは後回しになってくるというのはあるでしょう。だから一体誰がですね、どのような議論でこの制度を決定したのかと、その本当に居間ね責任が問われるんですよ。大臣、どこで決定されたのかご存知でしょうか。」

萩生田光一文科相「大学入学者選抜等に関わる非公開の情報をもとに検討を行う必要があります、第一回会議が開催された平成28年5月当初、非公開で行われ、その後一定の議論がまとまったことにより、」

畑野君枝「そこを知りたいんです、そこを知りたいです。大臣がおっしゃった検討準備グループで非公開だけど決まりました、って言われてもね、検証できないわけ、この非公開という1回目から9回目、出ないんです

よ。この間文科省にお願いしたらね、出せませんと言うんですよ。大臣も調べていただいて航海をしていただきたいと思います。」

萩生田光一文科相「どういう約束でこの会議が行われていたか、ちょっと詳らかに私も存じあげませんので、先生の問題意識を受け止めて持ち帰りたいと思います。」 "

ナレ「野党は利害関係者が関わったと見て、政府が公開を拒む決定プロセスも追及する構え、大臣が身の丈に合わせて、と口を滑らせた受験制度の実態が明らかになるにつれ、与党内からも制度の延期論が出ています。」

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。

"小川彩佳「私も英語の民間試験を受けたことがありますけれども、本番の緊張感のなかで回数を重ねてなれていくことがかなり点数に影響したのを思い出すんですね。こうして受験生に明らかな不公平を強いる制度を何でここまで推し進めようとするのかというところ非常に疑問を覚えるんですね。」

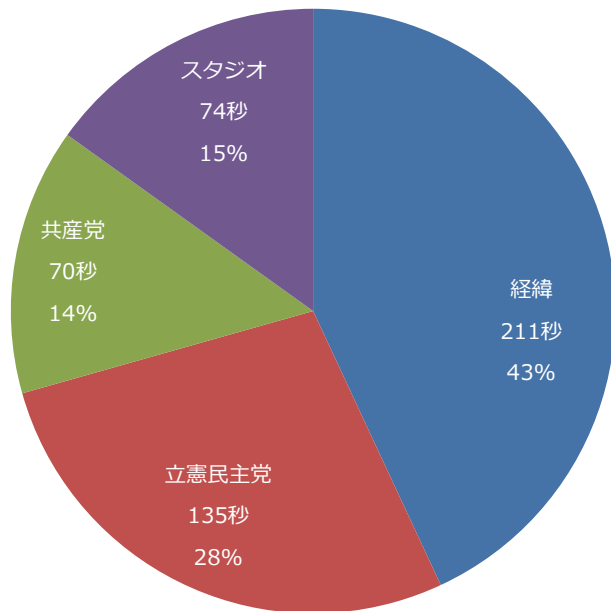
星浩「そうですね、これまで経済格差とか地域格差がかなりあるんじゃないかということが指摘されてきたんですが、今日の議論を聞いてみますと、さらにですね例えば民間業者の間の試験の点数のばらつきをどう調整するのかとか、試験会場の準備が整っていないじゃないかとか、いろんなもう基本的な問題が次々出てくるんですよ。」

小川彩佳「出ていますね。」

星浩「さらに、そもそもこの試験がどういう経緯で誰の発案で出てきたのか、その議事録というものも公開できないというのではまったくその問題が明らかになっていませんよね、これかなり多額の受験マネーが動きますのでね、いろんな疑問に答えてもらわないといけないし、仮にその疑問に答えられないのでは来年の試験は一旦延期をして、再度その制度設計をし直すということを考える必要があると思いますね。」

小川彩佳「そうですね受験生のことを考えていただきたいですね。」 "

このトピックに当てられた時間は 490 秒で経緯、立憲民主党、共産党、スタジオのそれぞれに当てられた時間及び比率は以下の通りであった。



放送法上は特に問題は見られなかった。

・表現の自由：結論→問題あり

小川キャスターの「川崎市で開催中の川崎新百合映画祭なんですけれども上映予定だった従軍慰安婦が題材の映画が上映取りやめとなりまして、表現を巡る議論がまきおこっています。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"中山周治代表（「映画祭」主催）「我々は我々なりに時間をかけてこれに取り組んできました。」

ナレ「現在開かれている川崎新百合映画祭で急遽開催が決まった表現の自由を考える集会。この集会が開かれるには訳がありました。従軍慰安婦をテーマにしたドキュメンタリー映画主戦場、この映画を巡っては出演者の一部が内容や制作過程に問題があるとして上映の差し止めを求めて提訴していました。共催の川崎市は妨害行為など、案炎上の懸念を主催側に伝え、主戦場の上映が取りやめとなったのです。そして今日、急遽表現の自由を考える場が持たれたのです。集会に飛び入りした主戦場の監督は。」 "

ミキ・デザキ（主戦場監督）「あなたがしたことは脅しや弾圧に屈したということなのです。私達は戦い続けなければならない。負け続けるなら私達は表現の自由をなくすことになります。」

"市民「今後、再上映の見込みはありますか、以上です。」

中山周治「問題がクリアできるのであれば、今すぐします。しかし、クリアできていない状況ではいつになるかわからない。」 "

"ナレ「この事態を受けて、2作品を映画祭に出す予定だったプロダクションが上映を取り下げる動きも。」

白石和彌監督（若松プロダクション）「補助金とかをもらって開催している映画祭は日本にもあちこち各地にあるというんですね、なにか問題が起こりそうな映画ははじめから、ラインナップに入れるの早めましようという動



きが加速するんじゃないかという恐れが非常にある。」"

ナレ「改めて表現の自由のあり方が問われています」

このトピックに当てられた時間は 148 秒だった。

VTR で若松プロダクションの白石和彌監督は「補助金とかをもらって開催している映画祭は日本にもあちこち各地にあるというんですね、なにか問題が起こりそうな映画ははじめから、ラインナップに入れるの早めましようという動きが加速するんじゃないかという恐れが非常にある。」とコメントしていたが、そもそも一部の活動に対して行政が補助金を投じるということが「表現の自由」だと言わんばかりの論調であったが、そうした補助金行政は付度だとか利権の温床となり、かえって表現の自由や納税者の利益を損なう恐れがあるのではないだろうか。今回の騒動ではそうした視点からの意見が取り上げられておらず、放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」および同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」に照らして問題と言える。

・森友裁判：結論→特に問題なし

森友裁判についてナレーションによって「詐欺などの罪に問われている森友学園の前理事長、籠池泰典被告と妻の諄子被告の裁判で検察側はそれぞれに懲役七年の求刑をしました。これまでの裁判で詢子被告は起訴内容を否認していますが検察側は諄子被告が設計業者との打ち合わせで多めにもろろといて、ぼったくってなどと指示していたとしてき。夫婦で一体となり犯行におよんだと認められるとしています。判決は来年 2 月に言い渡される見通しです。」と伝えられた。

このトピックに当てられた時間は 38 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イギリス議会：結論→特に問題なし

イギリス議会についてナレーションによって「EU 離脱が難航するイギリスの議会下院は 12 月 12 日に総選挙を実施することを賛成多数で可決しました。ジョンソン首相が提案した総選挙の前倒しについてはこれまで最大野党労働党が反対を続けてきましたが、EU の離脱の延期を受け、賛成に回った結果です。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は 30 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・日韓首脳会談延期：結論→特に問題なし

日韓首脳会談延期についてナレーションによって「政府が来月の ASEAN 関連首脳会議に合わせた安倍総理と韓国のムン・ジェイン大統領の首脳会談を見送る方針を固めました。日本企業への賠償を命じた徴用工判決から今日で一年ですが日本政府は韓国側に繰り返し国際法違反の是正を求めている、解決に向けた道筋が見えない中での判断です。」と伝えられた。このトピックに当てられた時間は 29 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・【異論反論】#日本の英語教育：結論→特に問題なし

山本キャスターの「先程もお伝えしましたが、大学入試に導入される英語の民間試験、学校の授業、留学、英

会話教室など英語を学ぶ手段は本当に様々あるわけですがけれども日本の英語教育についてあなたは。異論反論。」というコメントを受けて、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

"記者「大学受験での英語学習は生かしている？」

会社員 A「実際そんなにいきっていないんじゃないかなと思います。スピーキングとかをやったり重視したほうがいいんじゃないかなと思います。」

記者「民間試験の導入について」

主婦 B「プラスで塾に行かせるのかなにかしないとそこを勝ち抜いていけない、そうするとやっぱり格差が出てくるのかなと思います。」

公務員 C「英語はもう共通語なんで必須になってきているかなと。」

会社員 D「28年間日本語だけで生きてこられているので、今からすごく頑張って英語を勉強しようとは思わないかなと今思っています。」

中国出身の家族 E「子供の教育に関してはまあ我々も英語中心なんですけどやはり漢字漢文とか、これからも勉強やっぱり重要かなと今思っています。」

大学院生 F「英語だけにこだわらなくてもいいのかなとは、英語はやっぱりツールなのでしゃべる中身というか自分が発信できる中身が言葉だけではなくて必要かなと思います。」

山本恵里伽「以上オブジェクションでした。」

このトピックに当てられた時間は 90 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感

・ 英語民間試験

国会で立憲民主党の初鹿明博衆院議員の質疑について以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

初鹿明博（立憲民主党衆院議員）「中学校 3 年生のときにですね、三者面談をやったんですよね、先生がじゃあ滑り止めの私立はと、言いかけたところ、うちの母親はそれを遮ってお金がないんで私立は受けさせません。落ちるようだったら働かせます、バツサリ言いましたね、身の丈に合うというのはそういうことなんですよ。」

ナレ「身の丈に合わせて頑張って、という発言の撤回に追い込まれた萩生田文科大臣に対し野党は新たな制度がまさに身の丈受験を助長すると、反発しています。」

"初鹿明博「いま、みんな身の丈に合うように受けているんですよ、残念ながら、それを少しでも負担をですね、なくしていこうというのが政府のやるべきことじゃないですか。それを新たな負担が増えることを何故やるのかと。」

この質疑で初鹿議員が引き合いに出しているのは高校入試のことであり、今回の入試改革という身の丈入試とは微妙に論点がずれているように思えるが、こちらはこちらで重要な論点ではないだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年10月31日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：河井法相辞任、大学入試改革		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産首里城で火災が発生</li> <li>・河井法相辞任</li> <li>・英語民間試験</li> <li>・相次ぐ自然災害でボランティアが足りない</li> <li>・五輪マラソン男女“同日開催案”が浮上</li> <li>・ハロウィーン当日混乱は？</li> <li>・バグダディ容疑者襲撃の映像公開</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河井法相辞任→結論：問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「わずか一週間で2人の大臣が辞任となりました。河井法務大臣が妻の選挙違反の疑惑を受けて辞任しました。相次ぐ閣僚の辞任で政権への影響は避けられません」というコメントを導入に、以下に朱記したVTRが取り上げられていた。</p> <p style="color: red;">ナレーター「朝一番に官邸にやってきた河井克行法務大臣、あつという間の辞任でした」</p> <p style="color: red;">河井前法相「今、法務大臣の辞表を安倍晋三首相に提出をさせていただきまして、ご了解をいただきました。たとえ1分1秒でも法務行政に対する国民の信頼が損なわれてはならないと考え、妻と相談した上一晩じっくり考え、今朝決断をした次第であります」</p> <p style="color: red;">ナレーター「菅官房長官に近く、初入閣であった河井氏、辞任の発端は妻の案里議員の陣営に持ち上がった選挙違反の疑惑です。」</p> <p style="color: red;">安倍首相「(今年7月の参院選期間中の応援演説として) 皆さんどうか河井案里、河井案里を最後までどうか皆さんお願いを申し上げます」</p> <p style="color: red;">ナレーター「夏の参院選で初当選した案里議員、官邸主導で擁立されそのあおりを受ける形で自民党岸田派の重鎮・溝手候補が落選しました」</p> <p style="color: red;">溝手顕正氏(前参院議員)「あえてノーサイドとは申しませんが、サイドはあると思いますが」</p> <p style="color: red;">ナレーター「党内に禍根を残した選挙戦、この激戦の真ただ中、案里議員の事務所がウグイス嬢への日当として法律の上限を超える3万円を支払っていたという疑惑が報じられたのです。週刊文春によりますと、領収書をウグイス嬢名目と普段の人件費名目の2つに分け、規定の1万5000円に収まるようにしていたとのこと。もし事実なら公職選挙法違反で当選が無効となる可能性もありますが」</p> <p style="color: red;">河井前法相「今回の一件は私も妻も全くあずかり知らないところであります。私としては法令に則った政治活</p>		

動・選挙活動を行っている」と信じております。」

ナレーター「「全くあずかり知らない」のなら何故職を辞する必要があるのでしょうか」

河井前法相「疑義が生じたこと自体、法の番人として国民の信頼に堪えうるものではありません。法務検察に対する国民の信頼を守るため、私は法務大臣を辞めます」

ナレーター「妻の案里議員は週刊文春の取材に対して「大変驚いている」と回答、「今後説明責任を果たして参りたい」と述べています」

ナレーター「衆議院の本会議では会社法の改正案について審議される予定で、河井氏も出席する予定でした。疑惑に関する説明の場にもなるはずでしたが」

安住淳氏（立憲民主党国対委員長）「質問から逃げて、言ってみれば国会での説明責任を放棄して辞めた」

小池晃氏（日本共産党書記局長）「あずかり知らないのに何で辞めるのかと、言葉は悪いですが敵前逃亡と言われても仕方ないかと」

ナレーター「「辞め逃げ」の状況に反発する野党、思えば先週経済産業大臣を辞任した菅原氏も、この翌朝突如辞任、香典を巡る疑惑も結局国会で説明をしていません」

安倍首相「任命責任は私にあり、国民の皆様には深くお詫びを申し上げます」

ナレーター「それから僅か6日」

安倍首相「河井大臣を法務大臣に任命したのは私であります。こうした結果となりその責任を痛感しています」

ナレーター「再び任命責任を口にした安倍総理」

記者「具体的にどのような形で責任を取られるのでしょうか」

安倍首相「国民の皆様の信頼を回復して、しっかりと行政を前に進めていくこと、そのことにおいて責任を果たしていきたいと思っております」

志位和夫氏（日本共産党委員長）「「任命責任は私にある」ということを繰り返すわけです。もうこのセリフは聞き飽きたと」

福山哲郎氏（立憲民主党幹事長）「「任命責任はあります」と口ではお詫びを言っていますが、そのことに対して何も行動では表していません」

ナレーター「菅原氏・河井氏と菅官房長官に近いとされている閣僚の相次ぐ辞任、政府・与党からはこんな声が聞こえてきます」

自民党関係者「これで菅さんの影響力も削がれたな」

政府関係者「菅さんは確かに苦しくなっている。これ以上続くと厳しいね」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

小川キャスター「法務大臣、週刊誌の報道は「あずかり知らない」としながらも即辞任となりましたが」

星キャスター「自民党の人たちに聞きますと、実際は選挙違反の捜査はかなり深刻で、新しい疑惑も出かねないという状況だそうです。その捜査、警察を率いる法務大臣を続けるわけにはいかないのが真相でしょうね。それから今日の本会議で会社法の改正案という非常に重要な法案の説明を行う予定がドタキャンですから責任は重いと思いますね。」

小川キャスター「先週の菅原大臣の辞任に続いて、2週連続で大臣が辞任する形になりましたが、安倍総理は「任命責任は自分にある」と定型句のように繰り返しているように感じましたが、また言葉だけで終わってしま

うのかなと」

星キャスター「任命責任が総理にあるのは当然のことで、みんな知ってることです。問題なのはその任命責任をどう果たすか、どう国会で説明するか、それを安倍総理には果たしてもらいたいものですね。それからもう一つ、これは微妙な問題なのですが、今回の菅原さんも河井さんも官房長官の直系なんですね、実は政権ではこんな問題が起きていまして、安倍総理は今回（＝参院選後の内閣・党の人事で）岸田さんを幹事長にしようとしたのですが、老練な二階幹事長に阻まれたという経緯があったりして、どうも今の政権に安倍・岸田対二階・菅という構図がありまして、この中の菅さんの力が今回の辞任で削がれてくる、政権全体のバランスが崩れてくる、ただ菅さんはタダでは転びませんからこれから巻き返しに来るとなると政権全体の不安要因になるような予感がしますね」

小川キャスター「大河ドラマのような背景にあるのかどうかと」

このトピックに当てられた時間は 478 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・大学入試改革→結論：問題なし

小川キャスターの「続いても大臣の「身の丈に合った」という発言で急展開を迎えているこちらです」、山本キャスターの「来年度から大学入試に導入される英語の民間試験についてですが、政府内では準備が不足しているとして実施の延期を求める声が高まっています」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「いよいよ明日 11 月 1 日から始まることがあります。来年度から導入が予定されている大学入試共通テストの英語の民間試験を受けるために必要な共通 ID の申し込みです。ところが今日自民党内のベテラン議員からは見直しを求める声が公然と上がりました」

伊吹文明氏（元文科相）「(試験を) 受けられる地域と受けられない地域がある。金のある人は何度も何度もそこに行って復習をすることができる。これは非常に不公平じゃないかと」

ナレーター「派閥の総会でこう苦言を呈した文科相経験者の伊吹文明氏、続いて横にいる同じく文科相経験者の河村建夫氏に提案しました」

伊吹氏「河村先生、一度大臣経験者を集めて議論してみたらどうですかね」

ナレーター「石破氏も自身の派閥総会で」

石破茂氏（衆院議員、元自民党幹事長）「決まったことだからやるしかないというのは、本当に子どもたちのためになるのかなという思いがいたしております」

ナレーター「英語の民間試験導入の主な問題点は、受験料が高い、試験会場が少ない、地方の受験生は交通費や宿泊費がかさむ、業者ごとに設問や評価方法が違う、などです」

ナレーター「この試験を巡って萩生田文科相は「身の丈に合わせて頑張る」と発言し、謝罪と撤回に追い込まれました。試験の延期を求める野党側は今日都内の高校生を国会に呼んで話を聞きました。」

高校 2 年生「今の制度でもお金がある人は予備校に行けるとか、本が買えるとか、たしかに完全にイーブンではないと思う。でも予備校に入らなくても大学に入れるじゃないですか、しかしこの試験を受けなければ大学に入れないわけです。レベルが違う、そこが大臣分かってないんじゃないかと思う。」

ナレーター「同じく高校 2 年生の健さんは、萩生田大臣の「身の丈」以外のこの発言にも怒りを覚えたといい

ます」

萩生田文科相「初年度はいわば精度向上期間、精密さを高めるための期間ということです」

健さん（都内の高校に通う高校2年生）「実験台じゃないぞ」「モルモットじゃないぞ」と思いました」

ナレーター「民間の試験は来年4月から始まります。しかし今も試験会場や日程がほとんど決まっていない状況です。ケンさんはこの点にも疑問を抱いています」

健さん「都内でも情報が出ていなくて困ったり、準備があまりできていない状態なのに、地方の子たちはもっと格差を強いられているということが耳に入ってきて、公正公平であるべき試験なのにそんな格差を強いるのはどうなのかなって」

ナレーター「ここにきて政府内にも延期論が挙がっています」

政府関係者「最終的に決めるのは文科大臣だけど、絶対やめた方がいい」

政府関係者「試験をやりたいのは文科省と業者だけだ、とてもこのままでは突っ込めない」

ナレーター「最初の試験まではあと半年を切っています」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

小川キャスター「実験台ではないぞ」との当事者の声がありましたが、人生の分岐点の一つとなる大事な試験をトライアル期間のように扱われてはたまらないですよ。明日英語の試験のID申し込みが始まりますが、さすがにこのまま走り出すわけにはいかないという状況にあるでしょうね、星さん」

星キャスター「与党のなかでも意見が分かれているようで、このまま押し切るしかないという強硬論と、再検討した方がいいという慎重論が出ていまして、今日文科大臣経験者に聞いてみますと本来は静かに始めて、少しずつ改善しようと思ったのだが、萩生田文科相の「身の丈」発言で火がついてしまったという話をされていて、多少問題があってもやろうという動きはあったようですね。それが顕在化したということでしょう。世論が色々分かれている、世論の反応があるということですから、今晚自民党内で動きがあるようで、もしかしたら明日動きが出てくるかもしれませんね」

このトピックに当てられた時間は329秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感

・大学入試改革

大学入試に導入予定の英語民間試験についての報道で、自民党内のベテラン議員からの制度の見直しを求める声として、文部科学大臣経験者の伊吹文明衆院議員の「(試験を)受けられる地域と受けられない地域がある。金のある人は何度も何度もそこに行って復習をすることができる。これは非常に不公平じゃないかと。」との発言を取り上げていたが、いずれの論点についても識者よりかねてから指摘されていたことであり、与党・自民党内のいわゆる「文教族」の重鎮議員として、大学入試をはじめとした文部科学省の所管する政策について一定の影響を及ぼせる立場にある伊吹氏が、この機になって指摘するのは遅きに失した感が否めない。

仮に上記のような背景を持つ伊吹氏が英語民間試験について先に述べていたような重大な問題点が存在して



## NEWS23 週刊報告 詳細版

いることを認識していたにも関わらず、これまで公の場で指摘することなく、萩生田光一文科相による一連の発言を機に英語民間試験の導入に対する懐疑論が広がっている状況を受けてようやく口を開いたとすれば、選挙を通じた国民の信任をもとに行政監視にあたる国会議員、ましてや文部科学行政について高い発言力を有する立場にあるベテラン議員として見識に疑問を呈さざるを得ない。それを「文部科学相経験者のベテラン議員が政府の施策に苦言を呈した」という文脈で肯定的に報じることはいかなるものであろうか。

※伊吹氏の国会発言（平成 20 年 1 月 1 日以降）

「英語」 1 件 ※大学入試における試験制度とは無関係のもの

「民間試験」 0 件

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年11月1日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：五輪マラソン開催地問題、大学入試における英語民間試験導入問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五輪マラソン開催地問題</li> <li>・大学入試における英語民間試験導入問題</li> <li>・台風被災地進まぬ復興</li> <li>・首里城炎上出火原因は？</li> <li>・集団住宅に潜伏、逃走の女身柄を確保</li> <li>・女性襲いわいせつか、大手トイレメーカー社員逮捕</li> <li>・令和初の年賀はがき販売開始</li> <li>・ボージョレーヌーボー、今年の初荷が到着</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・松屋銀座エレベーターガール復活</li> <li>・レジ袋来年7月から全国で有料化へ</li> <li>・首里城再建玉城知事が支援要請</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五輪マラソン開催地問題→結論：問題なし</li> </ul> <p>小川キャスターの「まずお伝えするのはこちらです。東京オリンピックのマラソン・競歩の開催地は札幌となりました。小池都知事、悔しさを滲ませています。」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。</p> <p>ナレーター「東京オリンピックのマラソンと競歩、ついに札幌での開催が決まりました。」</p> <p>札幌市民「えー！札幌大変だー」</p> <p>札幌市民「札幌市民としてはいいけど、東京の人に悪いけどね」</p> <p>札幌市民「せっかく決まっていたのに札幌に移るでしょ。経費も掛かってるし」</p> <p>札幌市民「私たちはうれしい。でも東京の人はかわいそう」</p> <p>ナレーター「東京では落胆の声」</p> <p>菓子店店主「店の前を通るといって楽しみにしていたこともあるし、やっぱり残念ですよ」</p> <p>都民「納得はしないですよ。どこでやってもこんなはなしになっちゃって」</p> <p>ナレーター「IOC・大会組織委員会・東京都・国の4者が揃って行われた今日のIOC調整委員会」</p> <p>小池百合子氏（都知事）「東京で実施することがベストだという考え方はいささかも変わっておりません。IOCの決定に同意することはできませんが、最終決定の権限を有するIOCが下した決定を妨げることはしないというのが東京都としての決断でございます。あえて申し上げるなら合意なき決定でございます」</p>		

ナレーター「小池都知事は「合意なき決定」と強調したうえで札幌開催を受け入れる意向を示しました。それには次のような条件があったのです。まず、東京都が開催地の変更に伴う費用を負担しないこと、マラソン競歩以外は開催地を変更しないこと、などです。更に IOC からはこんな提案が」

コーツ氏 (IOC 調整委員会委員長)「この提案はオリンピック後に東京の人たちにセレブレーションマラソンの機会を与えるものです」

ナレーター「都民への誠意を示すものとして、オリンピック閉幕後に東京のコースを活用して「セレブレーションマラソン」を行うというのです。協議終了後、小池知事は悔しさを滲ませました。」

小池氏「IOC からの説明、なお足りない部分有ります。私たちとして納得いかない部分有ります。東京開催を目指して更に戦うことも検討致しました。しかし法的には勝てる可能性は極めて少ないと」

ナレーター「前代未聞の開催地変更ですが、肝心のコースはまだ決まらないままです」

森喜朗氏 (大会組織委員会会長)「12 月に予定されている IOC 理事会にスタート地点、ゴール地点、コースなどの承認を得られるよう準備を進める方針であります」

ナレーター「影響を受ける選手たちは札幌開催の決定をどう受け止めたのでしょうか」

中村匠吾氏 (男子マラソン五輪日本代表内定)「これまで東京開催に向けて多くの人々が準備を重ねてこられたので正直複雑な思いがあります。」

鈴木雄介氏 (男子 50 km 競歩五輪日本代表内定)「以前より「日陰のあるコースに」と要望しておりましたので、今後詳細を決めていくうえでぜひ検討していただきたいと思います」

ナレーター「日本陸連の瀬古リーダーは」

瀬古利彦氏 (日本陸連リーダー=番組で紹介されていた肩書、長距離強化部門の責任者=検証者注)「ずっと東京ありきで考えてきたので正直不本意ではあります。コースもまだ決まってないわけですから対策って言われてもね。」

ナレーター「困惑しているのは関係者だけではありません。こちらはオリンピックのチケットでマラソンに当選したという女性です。」

井上庸子氏 (東京五輪マラソン競技のチケット抽選で当選した女性)「そのまま私たちの手元にチケットが届いて、パブリックビューイングをしてほしい。チケットを持ってオリンピックの現場に行きたいんですよ。返さないでほしい〜！チケットは！そのまま！」

ナレーター「更に札幌開催で懸念されていたのは、誰が費用を負担するかという問題です」

記者「札幌で開催する経費については、IOC が負担すべきだとお考えでしょうか」

コーツ氏「いま決まっているのは、東京都は一切支払わないということだけです。」

ナレーター「札幌市と北海道に負担を求めていくかは今後協議していくとしましたが」

鈴木直道氏 (北海道知事)「(開催にかかる負担について) 組織委員会が負担をするというものを基本として考えていくということについて、市長 (秋元克広札幌市長=検証者注) とも改めて確認させていただいたところがあります」

ナレーター「コースの決定、費用負担の問題、そして日程についてもマラソンの男女同日開催が浮上するなど、まだ何も決まっていない中で果たして準備は間に合うのか。開幕まであと 9 か月、課題は山積しています」

このトピックに当てられた時間は 363 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・大学入試における英語民間試験導入問題→結論：問題なし

小川キャスターの「土壇場での方針転換と言うことになりました」、山本キャスターの「来年度からの導入が予定されていた大学入試の民間の英語の試験について、萩生田文部科学大臣は自信をもって受験生にお勧めできないとして導入の延期を発表しました。高校生からは安堵と困惑の声が挙がっています」とのコメントを導入に、以下に朱記した VTR が取り上げられていた。

ナレーター「今朝、萩生田文科大臣は」

萩生田光一氏（文部科学相）「私は就任以来試験を受ける高校生のことを一番に思いながら、慎重に検討を行って参りました」

ナレーター「「高校生のことを一番に思いながら」としたうえで、自信をもって受験生の皆さんにお勧めをできるシステムになっていないとの判断をしたため、本日延期を決断したところです。来年度の大学入学共通テストから導入される予定だった英語の民間試験、その延期を決めたのです。受験を控えた全国各地の高校生からは安堵の声も聞かれました。」

宮崎県の高校2年生「少しびっくりはしたけど、良かったなという安心感もありますね」

宮崎県の高校2年生「お騒がせというかちょっとバタバタしていたけど、でも結局やらないんかーいみたいな。でも怒りとかはないです。ほっとしたのが大きかったです」

宮城県の高校2年生「細かい部分が明確になっていなかった部分が多いと感じていて、準備不足と言うことがあるのかと思うので」

愛媛県の高校2年生「地方は試験会場が少なくて、お金がかかるのでなくなった方がいいなと思います」

ナレーター「静岡県にあるこちらの中高一貫校では、英語教育に力を入れていて数年前から新たな対策を進めてきました。生徒からは戸惑いの声」

高校2年生「英検やGTECのスコアが必要と聞いて、自習して英検の対策をしてきたんですけど、それも全部踏みにじられたような気持ちがあります」

高校2年生「民間試験ではなくなったあとの試験がどのようなものかわからないので、私たちが対応するのが遅れるのではないかと不安です」

ナレーター「学校では今日から受付が始まる予定だった受験に必要な共通IDの発送準備もすでに終わっていました」

永田和也氏（静岡英和女学院教諭）「試験の対策として計画していたことを、また一から組み直していかないといけない。できるだけ早く生徒を不安にしないよう進めていかなければならないと考えています」

ナレーター「また、民間英語試験の実施団体の一つ、ベネッセコーポレーションは」

ベネッセコーポレーション談話「2020年度の開始に向け、準備を進めてきたので、非常に残念に思っている」

ナレーター「まさに急転直下の延期決定、どうしてこのタイミングになったのでしょうか。民間試験の導入を巡ってはかねてから受験料が高い、地方の試験会場が少ない、業者ごとに評価方法が違うなどの問題点が指摘されていました。今年9月には全国の学校の校長が導入の延期を求める要望書を文科相に提出したことも」

萩原聡氏（全国高等学校長協会会長）「2学期が始まり、高校生に対する具体的な指導が始まる時期になっても、

依然として不安の解消が為されない状態が続いております。」

ナレーター「しかし政府側に立ち止まる様子はなく、このまま押し進めるのかと思われた矢先飛び出したのは萩生田大臣のこの発言でした」

萩生田氏「自分の身の丈に合わせて2回（試験）をきちんと選んで勝負してもらえたら」

記者「ご自身のテレビでの発言が影響されたかと思うのですが」

萩生田氏「私の発言が直接原因になったということではありません。そのことだけでなく全体的に不備があることを認めざるを得ないと思います」

ナレーター「自分の発言が原因でないと述べた萩生田大臣、一方制度の導入を後押ししてきた柴山（昌彦＝検証者注）前文科大臣は悔しさを滲ませます」

柴山昌彦氏（前文部科学相）「残念ですね、はい。どちらかというと混乱回避、受験生のための利益確保のために努力がされて、客観的な状況としては改善されてきたところで、やはり政治的な決着だったのかなと」

ナレーター「今回の延期の決定について、「混乱回避のための政治決着ではないか」との見方を示しました。政府・与党幹部は」

文科省幹部の談話「官邸の意向が強い。閣僚の不祥事が続いた影響も大きい」

自民党幹部の談話「このままずるずるやっていたら、内閣支持率に影響する」

ナレーター「一方で勢いづくのは野党です」

記者「（英語民間試験の導入問題について）予算委員会でも取り上げるつもりでしょうか」

安住淳氏（立憲民主党国対委員長）「当然ですよ、責任追及しますよ。学生にこれだけ迷惑を掛けたのだからタダじゃ済まされない」

ナレーター「来年からの導入を断念し、2024年度からの導入を目指すとした萩生田大臣、さまざまな問題点を克服し、次こそ予定通りとなるのでしょうか」

VTRを受け、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

小川キャスター「この英語の民間試験、この間までは予定通り始まるのが前提だったのが、今日一転して萩生田大臣が受験生にお勧めできるシステムじゃないというふうの説明したが、さすがにこの1日・2日でこの欠陥に気付いたというわけではないわけで」

星キャスター「延期を発表する上で「お勧めできない」というのは問題だと思いますね。だいたい萩生田さんは内閣改造で教育問題に詳しいということで入閣したわけで、これまで英語の民間試験を巡る経緯を知らないというわけではなく、「お勧めできない」というのはいかにも無責任だと思いますし、文科省も昨日の夜なんかは右往左往し、最終的には延期も決められず最後は首相官邸が判断するという経緯でしたね。」

小川キャスター「しかし、結果的に4年も先送りするほど欠陥が多い受験制度だったわけですが、大臣の「身の丈」発言が無ければそのまま実施していたと考えるとゾッとするものがありますね」

星キャスター「政府・与党の関係者に聞きますと、「身の丈」発言が無ければ強行していたという人が多いですね。そもそも民間に試験を丸投げすることの問題点や経済格差・地域格差がありながら強行することの問題点が一切解決されてなかったわけですから、国会でこの経緯と問題点を洗い出してもらいたいですね」

小川キャスター「なんで押し進められたのか、どこで間違ったのか、そこを曖昧にせず検証してもらわないと不信感を解消できませんね」

## NEWS23 週刊報告 詳細版

このトピックに当てられた時間は 492 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

### 検証者所感

#### ・五輪マラソン開催地問題

来夏の東京五輪のマラソン競歩競技に関して札幌市での代替開催で合意した件に関する報道で、代替開催によって追加的に発生する費用の負担について、IOC側の交渉責任者であるコーツ氏の「いま決まっているのは、東京都は一切支払わないということだけです。」との発言を紹介していたが、この言葉通りに都に対しては負担を課さないとしても、その請求書が五輪組織委員会やJOCに回ってくれば、結局はその出処は(都民も含む)国民の税金になるわけで、いずれにしても新たな負担が生じる事態を最小限に留める為の努力が求められるであろう。